

# 第7回ワークショップ 健康グループまとめ

臼田地区のこれからを話し合うために、具体的な人口推移データが欲しい。

臼田地区の在宅介護が多い背景には、佐久病院の地域ケアの存在。家にいても、病院とつながっている臼田の長所をいかしたまちづくり。

二次予防高齢者が多いのは、臼田地区の保健師さんが積極的に啓発しているから。住民自体の健康意識も高い。

上田市の特養「ローマンうえだ」。住民の強い要望が署名活動等に結びつき、実現した。

竣工後も、地域住民が積極的に関わり支えている。これからのモデルとして参考にしては。

臼田地区の訪問看護ステーションは、大勢の人を抱え重度の人も多いので、スタッフは疲弊している。原因を探り、解決策が必要。

在宅で家族を看取ったが、訪問看護の迅速な対応で本人も家族も大変良かった。他地区ではなかなか出来ないこと。

自分の経験・知識を活かしたい思いを持つ高齢者が多い。  
そういう方たちの活躍の場として、施設との関わり方を発信したい。

介護保険料抑制のためにも、これからは予防事業の時代。  
佐久病院には指導センターの役割をお願いしたい。

臼田地区の介護施設は老朽化し、将来的には建替えの検討も必要だが、ただ施設をつくれれば良いわけではない。

地域のみなさんが、関わっていける形での提案が必要。

これからは、看護師以外の医療職も在宅へとシフトしていくのでは。再構築後は、「おらたちの病院」としての機能が一層強まる。

次回は、「わたしの描く健康なまちづくり」を各自で提案。  
要望だけでなく、市民として出来ることを示しての提案を。